

# 会報21号

電話 075-691-7561  
 発行責任者 木村信彦  
 編集者 石田房一 (代表顧問)  
 広報編集部 松田誠二 (広報部長)  
 清水美優 (広報担当)  
 編集部 西片里紗  
 木村垂衣

京都

# 獅子の如く

吉祥院



吉祥院六斎念仏踊り 重要無形民俗文化財指定

*It has been designated an Important Intangible Folk Cultural Property.  
Kissyoin Rokusai Nenbutsu Odori, designated in 1983.*

国の重要無形民俗文化財指定  
吉祥院六斎念仏踊り

## 【特集】 京都の文化財を支える

### 京都六斎念仏保存団体連合会

京都六斎念仏保存団体連合会は、国の重要無形民俗文化財に指定された「京都の六斎念仏踊り」の保存継承を目的として活動する。六斎現連合会は、吉祥院六斎保存会、空也念仏群保存会、梅津六斎保存会、久世六斎保存会、小山郷六斎保存会、西院六斎保存会、西院六斎保存会、空也念仏群保存会、梅津六斎保存会、久世六斎保存会、小山郷六斎保存会、中堂寺六斎会、壬生六斎念仏講中、上鳥羽橋上鉦講中、六波羅蜜寺空也踊躍念仏保存会、円覚寺六斎念仏講、桂六斎念仏保存会で構成されている。また、「こども六斎教室」の活動の成果発表会を開催するなど、六斎念仏の後継者育成活動に取り組む。

事務所：京都市文化市民局文化財保護課に置く。

#### 【活動の概要】

□昭和五十二年  
 十四団体の加入により、京都六斎念仏保存団体が結成された。

初代会長に、吉祥院六斎保存会会長の故山中弥一郎氏が就任された。



□昭和五十三年

京都市自治八十周年記念「京都六斎念仏無形文化財選択記念…第九回郷土芸能の夕べ」を開催

出演は、吉祥院、上鳥羽、梅津、久世、小山郷、西院、

□平成元年

六斎連合会の技術交流会を開催（獅子舞と蜘蛛の巣づくりの指導講習会）を実施

□昭和六十三年

京都国体開会式に八団体が獅子舞徒蜘蛛の演技披露

□平成四年

「京都の六斎念仏フェス

嵯峨野、千本、中堂寺、壬生の六斎保存団体が共演

□昭和五十四年

「京都の六斎念仏調査報告書」刊行

□昭和五十五年

群念仏六斎が活動中断（後継者不足の為）

□昭和五十八年

国の重要無形民俗文化財に指定

□昭和六十年

「京都の六斎念仏フェス」を開催

□平成九年

西院六斎会会長の死去のため中断（平成十年西院学区連合会により活動再開）

□平成十年

「六斎念仏踊り一般公開表」の発行開始

□平成十一年

清水寺盂蘭盆奉納六斎を開始

□平成十五年

文化庁が「伝統文化こども六斎教室」事業を開始

上鳥羽橋上鉦講中

【六斎分類】 念仏六斎

【代表者】 熊田茂男

【一般公開】 八月二十二日

浄禅寺（鳥羽地蔵）に六地藏めぐり奉納

梅津六斎保存会

【六斎分類】 芸能六斎

【代表者】 中谷新一

【一般公開】 八月最終日曜、梅宮大社にて嵯峨天皇祭奉納

円覚寺六斎念仏保存会

【六斎分類】 念仏六斎

【代表者】 現在休会中

【一般公開】 ー

桂六斎保存会

【六斎分類】 芸能六斎

【代表者】 ー

【一般公開】 ー

桂六斎保存会

【六斎分類】 芸能六斎

□平成二十年  
 重要無形民俗文化財指定二十五周年記念として「第三十八回京の郷土芸能まつり（大集合！京都の六斎念仏）」を開催  
 （以下省略）

#### 【構成団体】

吉祥院六斎保存会

【六斎分類】 芸能六斎

【代表者】 木村俊典

【一般公開】 四月二十五日

八月二十五日、吉祥院天満宮にて春秋大祭奉納



私たちは、吉祥院六斎歴史研究会「獅子の如く」の活動を応援しています。

**NPO法人ふれあい吉祥院ネットワーク**  
 理事長 野村良博

**解放新聞社京都支局**  
 〒603-8151京都市北区小山下総町5番地の1  
 京都府部落解放センター内 代表 西島藤彦

**株式会社新井建設工業**  
 〒601-8364京都市南区吉祥院石原南町16-24  
 代表取締役社長 新井正幸

**吉祥院人権啓発企業連絡会**  
 会長 西留哲也

**企 祥 会**  
 吉祥院を良くする企業の会  
 代表 山中兼一

**岩本建設株式会社**  
 〒601-8361京都市南区吉祥院石原京道町31番地  
 代表取締役社長 岩本俊博



【代表者】(現在休会中)  
【一般公開】—

久世六斎保存会

【六斎分類】芸能六斎  
【代表者】山口章司  
【一般公開】八月三十一日、蔵王堂光福寺にて八朔祭法楽会奉納

小山郷六斎保存会

【六斎分類】芸能六斎  
【代表者】渡辺良明  
【一般公開】八月十八日、上御霊神社にて例大祭奉納

西方寺六斎念仏保存会

【六斎分類】念仏六斎  
【代表者】川内哲淳  
【一般公開】八月十六日、西方寺にて送り火奉納

西院六斎念仏保存会

【六斎分類】芸能六斎  
【代表者】山口良知  
【一般公開】八月二十二日、高山寺にて地蔵盆奉納

嵯峨野六斎念仏保存会

【六斎分類】芸能六斎  
【代表者】北村昌司  
【一般公開】八月二十三日、阿弥蛇寺(有栖川)にて地蔵盆奉納、九月第一日曜、松尾大社にて八朔祭奉納

千本六斎会

【六斎分類】芸能六斎  
【代表者】吹田哲二郎  
【一般公開】八月十四日、千本えんま堂にて盂蘭盆奉納

京都中堂寺六斎会

【六斎分類】芸能六斎  
【代表者】秋田吉博  
【一般公開】四月二十九日、伏見稻荷大社御旅所にて氏子祭宵宮奉納、八月十六日、壬生寺にて精霊送り奉納

壬生六斎念仏講中

【六斎分類】芸能六斎  
【代表者】山根正廣  
【一般公開】四月上旬、山崎聖天にて花祭り奉納

六波羅蜜寺空也踊躍念仏保存会

【六斎分類】念仏六斎  
【代表者】川崎純性  
【一般公開】十二月十三日、三十日、六波羅蜜寺にて踊躍念仏奉納

# 京都の六斎念仏



構成団体概要平成三十年三月のもの

京洛近郊の一部特殊な展開を見せ、本来のものとは個別の形式を近世以降派生させるに至りました。その最も大きな特徴は、用する楽器に笛使を取り入れた点です。このようなものを従来の形と区別する便宜より、「六斎念仏踊り(六斎踊り)とも」ないし「芸能六斎」と学術上呼称します。その内容は、念仏から離れた娯楽要素の強い曲目の演奏です。かかる形態の出現によって、一方では保守本流の六斎念仏講も存在し続けたために、京都周辺には、二種

類の様式がもとに「六斎念仏」として混在する事態が起こりました。なお、現在は上述の良い用語に対比させて、元々の六斎念仏のことを、「やはり学術上「念仏六斎」と称されています。ただし、実際には「鉦講」という名で各地元ではむしろ親しまれてきた「上鳥羽橋上鉦講、嵯峨水尾の鉦講」などがあります。ところで、いずれの六斎念仏を始めるにあたって、各講

は管轄の寺院より免許を受ける決まりでした。寺院は二つあり、千菜寺(千菜山光福寺徒/京都市左京区田中上柳町)と、空也堂(紫雲山娯楽院光勝寺/京都市中京区亀屋町)があり、そのどちらから免許を受けたかによって、「千菜寺系六斎」「空也堂系六斎」に分類されます。

千菜寺は、六斎の芸能化を認めなかったとされ(その旨の通達文書がある)、他方空也堂は、その辺り寛容であつたらしく、芸能六斎はすべて空也堂系に帰しています。なお、空也堂系にも念仏六斎は存在するので、これら系統の比較と念仏・芸能の複雑な関連性が盛られます。



演目/獅子と蜘蛛

六斎念仏は古く※六斎日に行われた念仏であるとされている。しかし、現在存続するほとんどの六斎念仏は、六斎日の期間のに基づいて営まれるわけではなく、主に盂蘭盆や葬祭に際して行われる。多くの場合、かつて講を形成して、今日では保存会がこれを継承して執行されている▼関西の農村や都市近郊を中心に全国各地に存在し、そのうちもともよく知られるものが昭和五十八年に国の重要無形民俗文化財に指定された「京都の六斎念仏」である▼和歌山県紀北の高野山麓から紀ノ川、奈良県に至る吉野川流域や、奈良盆地、滋賀県朽木や福井健若狭地方、大阪府や兵庫県旧摂津国に属する地域、さらに但馬など関西広域に濃密な分布が示される▼長崎県平戸島、高知県、愛知県や山梨県の富士山麓周辺にも「六斎念仏」の分布が確認されている。また千葉県の六座念仏、山形県で行われる夜行念仏なども六斎念仏との関連が指摘されている。

※六斎日(ろくさいにち)  
仏教の思想に基づく斎日のひとつ。この斎日は一ヶ月のうち(八・十四・十五・二十三・二十九・三十)の六日で、前半の三日と後半の三日に分け、それぞれの三日を三斎日と称す。六斎日の歴史は古く、律令制における令にも、この日は殺生を禁じる規定があり、出家したものは布薩説戒を行い、在家のものは八斎戒を守ることとなっていた。

私たちは、吉祥院六斎歴史研究会「獅子の如く」の活動を応援しています。

清華園

〒600-8202京都市下京区川端町11  
☎ 075-351-8391 店主 清水 悟

平井 斉己

Toshiki - Hirai

武田 徹

Touru - Takeda

井上工業所

〒601-8395京都市南区吉祥院中河原西屋敷町21-1  
☎ 075-311-7430 代表取締役 井上孝司

株 ダイヤ・セキュリティ・ジャパン

代表取締役 石井啓介

株 西 建

〒601-8343京都市南区吉祥院稲葉町31番  
☎ 075-661-2929 代表取締役 西留哲也